

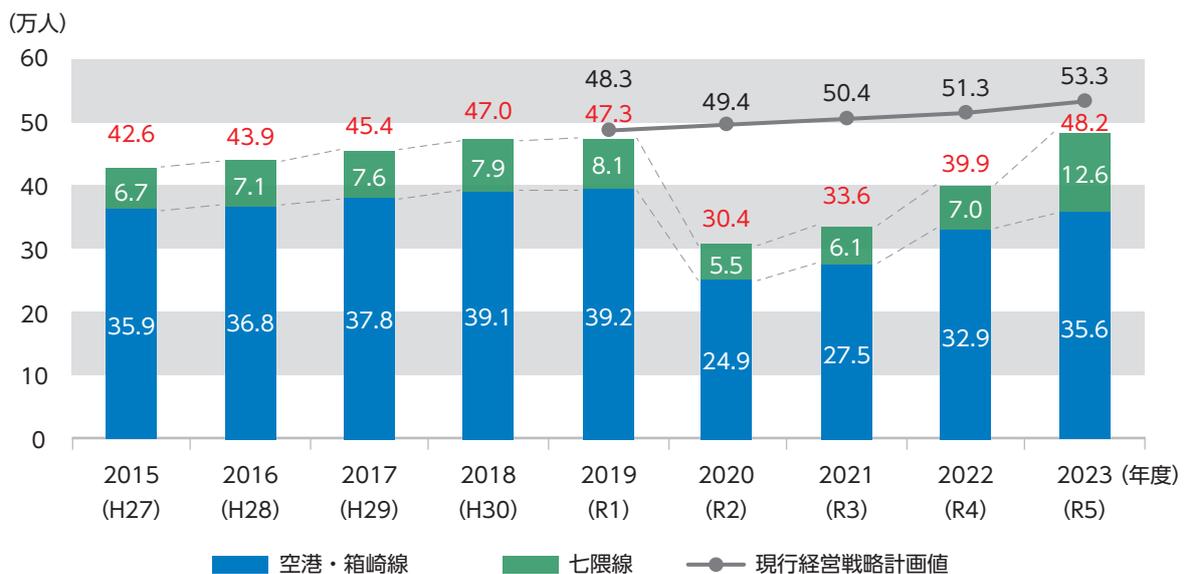
第 1 章 策定の背景と目的



1 背景と目的

- 福岡市地下鉄では、経営の基本的な方針や総合的な取組方針を示した経営全般に関する中長期的な計画として「福岡市地下鉄経営戦略」（以下「現行経営戦略」という。）を2019（平成31）年2月に策定しました。
- しかし、2020（令和2）年2月頃から、福岡市においても新型コロナウイルス感染症の影響が現れ始めたことによって、地下鉄の輸送人員、運輸収益ともに大幅に減少するなど経営環境が一変しました。
- その後、地下鉄の輸送人員は、2021（令和3）年度以降は緩やかに回復し、2023（令和5）年3月の七隈線延伸開業に加え、同年5月には新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更されて行動制限が撤廃されたことなどにより、2023（令和5）年度はコロナ禍前の水準を超えて過去最高となったものの、現行経営戦略の計画値を下回っています。

地下鉄路線別の一日当たり輸送人員の推移



- また一方で、近年は資源価格高騰等の影響により、電気料金をはじめとした地下鉄運営コストが上昇していることに加え、鉄道事業における防犯対策の強化や脱炭素社会の実現等の新たな社会課題への対応が求められるなど、地下鉄経営を取り巻く環境が大きく変化しています。
- 以上のような状況を踏まえ、将来にわたって安全・安心で快適な輸送サービスを提供し続けるために、現行経営戦略を見直し、新たな中長期的な経営の基本計画として「福岡市地下鉄長期ビジョン」（以下「長期ビジョン」という。）を策定します。



2 計画期間

- 計画期間は2025（令和7）年度～2036（令和18）年度の12年間とし、長期ビジョンにおいて基本方針と目標等を定めることで、福岡市地下鉄が将来にわたって安全で快適な輸送サービスを提供し続けていくことに加え、お客様に満足いただき、選ばれる地下鉄を目指します。
- さらに、中長期的な投資計画や収支計画を明らかにするとともに、長期ビジョンの目標達成に向けた施策の実施計画として「福岡市地下鉄中期経営計画」（以下「中期計画」という。）を4年ごとに策定し、施策を着実に推進していきます。

長期ビジョン・中期計画の体系

